

次期「とくしまの学校における働き方改革プラン」骨子（案）について

1 次期・プランの策定コンセプト

(1) 目的

これまでの働き方を見直すことで、教員の健康を守ることはもとより、ウェルビーイングを確保しつつ、高度専門職である教員が新しい知識・技能等を学び続け、徳島の未来を担う子供たちにより良い教育を行うことができるようにすること。

(2) 目標

教員の1か月当たりの時間外在校等時間（平均）を令和8年度までに、令和5年度比「25%以上削減」を目指す。

(3) 次期・プランの体系

現行プランの成果と課題を踏まえながら、好事例の横展開と先進事例等を取り入れた新たな施策を講じ、働き方改革を強力に推進する。

取組の柱

①タイムマネジメントの徹底

- ・ 服務監督権者による勤務時間管理の徹底 等

②業務改善の更なる推進

- ・ 徹底した業務の精選・見直し
- ・ メンタルヘルスケアの体制強化 等

③外部人材の積極的活用

- ・ 支援スタッフの配置拡充
- ・ 学校運営協議会や地域人材等の活用 等

④部活動の適正化

- ・ 中学校の休日部活動の地域移行
- ・ 「部活動の在り方に関する方針」の遵守 等

2 計画期間

令和6年度から令和8年度まで（3年間）（現行プラン：令和3年度から令和5年度）